

授業 コード	11672	科目名	インテリアマテリアル		担当者				瀬部 明		
		副題	インテリアにおけるさまざまな材料	開講期	後期	単位数	2	DP対応	S1,S3		

【授業概要】

建築およびインテリアに用いられる材料について細かく紹介していきます。商品選択に役立つ知識も盛り込みます。

【到達目標】

さまざまな材料の特性を理解し、峻別できる。
どこに何が使えるか理解し、材料選択の提案ができる。

【授業方法・計画】

講義は毎回レジメを配付し、講義中に解説した言葉等を書き込めばノートが完成します。また、実物サンプルや画像を提示します。

第1回	はじめに：受講にあたっての留意点、評価の仕方などの解説
第2回	土足厳禁の決まり：日本の風土とインテリアの歴史
第3回	もっと光を！暖かさを！：西洋の風土とインテリアの歴史
第4回	空間の捉え：インテリアの構法
第5回	よく見て！さわって！：テクスチャー
第6回	木を使う：木質系材料、製品の紹介
第7回	土・石を使う：土・石系の材料、製品の紹介
第8回	紙・布を使う：紙・布製品の紹介
第9回	金属を使う：金属材料、製品の紹介
第10回	ガラスを使う：ガラスの特性、魅力ある使用例の紹介
第11回	プラスチックを使う：化学工業系の材料、製品の紹介、リサイクル問題
第12回	生き物を使う：インテリアとしての植物やアクアリウム
第13回	芸術品を使う：芸術品、オブジェの飾り方と生かし方
第14回	場所別マテリアル：室内での各マテリアルの使用例の紹介

【準備学習・復習】

準備学習：前もって指示した材料を、ホームセンター等で探す努力をすること(100分程度)。
復習：ホームセンターなどの商品はもとより、街中の壁や柱などあらゆるものを触って踏みしめて、感触を経験すること(100分程度)。

【課題に対するフィードバックの方法】

小レポートおよび小テストについては、コメントを付与して返却します。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

隔年開講となるため、いい加減な受講姿勢で臨んで不合格となった場合、後がありません。
本格的な建築材料学の講義も開講されているので、この講義を下地におけば理解が深まると考えられます。
質問等は講義後に受け付けます。

成績評価方法	小レポートおよび小テスト：20%、試験：80%で評価
教科書	使用しない(毎回レジメおよび参考資料を配付する)
参考書	特に指定しない

SA2103	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----